

## SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター  
研究調整部

### 平成21年5～6月の運転・利用実績

SPring-8は5月12日から6月17日までマルチバンチ及びセベラルバンチ運転で第2サイクルの運転を実施した。第2サイクルではRFのトラブルによる停止等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間(ユーザータイム)内での故障等による停止時間(down time)は約0.8%であった。

放射光利用実績については、実施された共同利用研究の実験数は合計320件、利用研究者は1,552名で、専用施設利用研究の実験数は合計145件、利用研究者は648名であった。

#### 1. 装置運転関係

##### (1) 運転期間

第2サイクル(5/12(火)～6/17(水))

##### (2) 運転時間の内訳

運転時間総計	約860時間
装置の調整及びマシンスタディ等	約117時間
放射光利用運転時間	約737時間
故障等によるdown time	約6時間
総放射光利用運転時間(ユーザータイム= + ) に対するdown timeの割合	約0.8%

##### (3) 運転スペック等

第2サイクル(マルチバンチ及びセベラルバンチ運転)

- ・160bunch train × 12 (マルチバンチ)
- ・11bunch train × 29
- ・1/7filling + 5bunches
- ・2/29filling + 26bunches
- ・入射は電流値優先モード(2～3分毎(マルチバンチ時)もしくは20～40秒毎(セベラルバンチ時))のTop-Upモードで実施。
- ・蓄積電流 8GeV、～100mA

##### (4) 主なdown timeの原因

RF反射異常によるアポート

### FE部駆動異常によるアポート

#### 2. 利用関係

##### (1) 放射光利用実験期間

第2サイクル(5/15(金)～6/17(水))

##### (2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン	
共用ビームライン	26本
専用ビームライン	14本
理研ビームライン	7本
加速器診断ビームライン	2本

共同利用研究実験数 320件

共同利用研究者数 1,552名

専用施設利用研究実験数 145件

専用施設利用研究者数 648名

### 平成21年6～8月の運転実績

SPring-8は6月22日から7月31日までマルチバンチ及びセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を実施している。第3サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

#### 今後の予定

(1) 8月1日から9月29日まで夏期長期運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。

(2) 夏期長期運転停止期間後の運転再開は9月30日からの予定で10月30日まで第4サイクルの運転を行う。但し、9月30日から10月6日まではマシン及びBL立ち上げ調整期間としユーザーへの放射光の提供は行わない予定である。詳細な運転条件については決定しだいユーザーにSPring-8のWWW等で報告する。

平成21年度のSPring-8運転計画

SPring-8では2009B期の運転を以下のように計画している。但し、本計画は、後の検討により修正される場合がある。

正式に運転計画が決定され次第、SPring-8のWWW等で報告する。

(1) 運転予定表

図1に平成21年度(2009年度)の運転計画を示す。

(2) 運転計画の内訳

サイクル数

平成21年度は合計6サイクルの運転を予定している。

(3) 運転スペック等

各サイクルの詳細な運転スペック(蓄積電流値やパンチ運転、フィリング等)については、利用者の要望等を踏まえ、検討・調整を行う。決定された運転スペックについては、すみやかにSPring-8のWWW等で報告する。

